

福岡市バリアフリー基本計画
(アクションプラン)の実施状況について

【平成28年度】

平成28年

目次

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系	-----
第2 アクションプランに基づく取組みについて 【平成27年度・平成28年度】	-----
Ⅰ ハード面のバリアフリー化	
1 旅客施設	-----
(1)鉄道駅	
(2)福岡市営地下鉄全線	
(3)バスターミナル	
(4)旅客船ターミナル	
(5)航空旅客ターミナル	
2 車両等	-----
(1)乗合バス	
(2)福岡市営地下鉄車両	
3 道路	-----
(1)生活関連経路(重点整備地区内)	
(2)信号機(重点整備地区内)	
(3)エスコートゾーン	
(4)バス利用環境の改善	
4 公園	-----
Ⅱ ソフト面のバリアフリー化	
1 「心のバリアフリー」の推進	-----
(1)啓発・育成・実践	
(2)バリアフリー情報発信	
2 移動支援の推進	-----
Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理	
1 スパイラルアップ	-----

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系

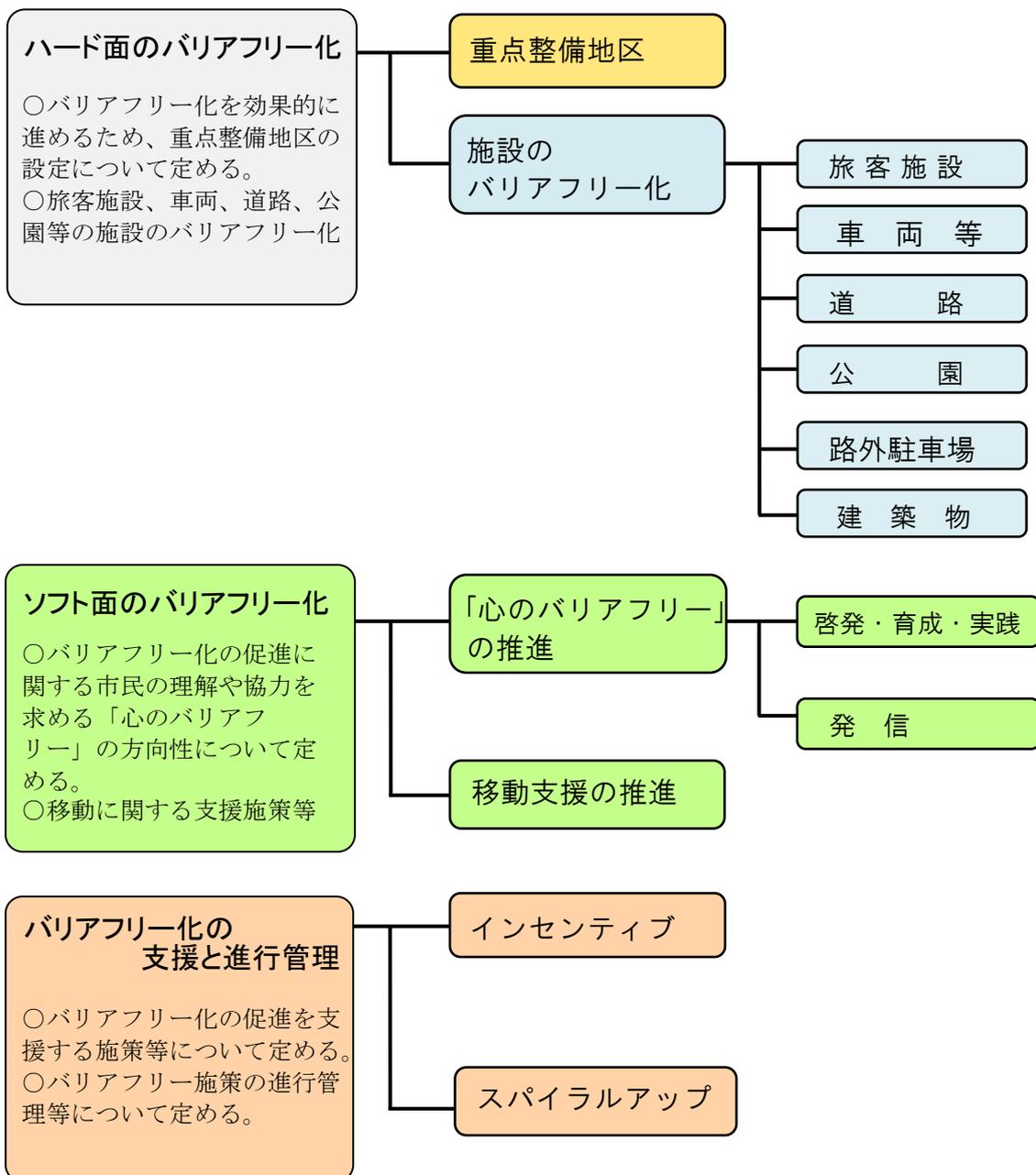
【基本理念】

本計画はバリアフリーの視点に立脚するものですが、ユニバーサルデザインの理念も踏まえて、すべての人にやさしい施設の整備や、すべての人がバリアフリー化の促進について理解し協力を惜しまない社会の実現をめざし、基本理念を次のとおりとします。

誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちづくり

【施策体系】

本計画は、施設整備等のハード面の取組みを中心とする「ハード面のバリアフリー化」、
「心のバリアフリー」の推進など、ソフト面の取組みを中心とする「ソフト面のバリアフリー化」、及び「バリアフリー化の支援と進行管理」の3つの柱で構成されます。本計画の施策体系は、以下のとおりです。



第2 アクションプランに基づく取組みについて【平成27年度・平成28年度】

本アクションプランは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、平成32年までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈前期〉の平成25年度から28年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、アクションプラン(工程表, H25.4作成)を基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

本アクションプランでは、平成27年度の実績及び平成28年度の取組みについて報告します。

I ハード面のバリアフリー化

1 旅客施設

(1) 鉄道駅

①	段差の解消						
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。 ・対象駅数:60						
指標と実績	段差が解消された駅数	現状値 H24年度	実績 H25年度	実績 H26年度	実績 H27年度	中間目標 H28年度	最終目標 H32年度
		57	58	59	60	60	60
平成27年度の取組み【実績】	JR香椎線和白駅のスロープの整備完了。【JR九州】						
平成28年度の取組み	整備予定なし						
【関係機関】	○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)						

スロープの整備状況(JR香椎線和白駅)



着手前



完了

② 転落防止設備の整備							
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、内方線付点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組みます。 ・対象駅数:60						
指標と実績	転落防止設備の整備が完了した駅数	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		54	55	57	59	60	60
平成27年度の取組み【実績】	1. JR香椎線和白駅の内方線点状ブロック整備完了。【JR九州】 2. JR鹿児島本線千早駅の内方線点状ブロック整備完了。【JR九州】 3. JR新幹線博多駅の転落防止柵開口部において、内方線付点状ブロックの追加設置完了。【JR西日本】						
平成28年度の取組み	西鉄雑餉隈駅の内方線点状ブロック整備完了予定。【西日本鉄道】						
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)							

③ 視覚障がい者誘導用ブロックの整備							
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、公共用通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象駅数:60						
指標と実績	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了した駅数	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		59	59	59	60	60	60
平成27年度の取組み【実績】	JR香椎線和白駅の視覚障がい者誘導用ブロック整備完了。【JR九州】						
平成28年度の取組み	整備予定なし						
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)							

JR香椎線和白駅の視覚障がい者誘導用ブロック整備



着手前



完了

④ 障がい者対応型便所の設置							
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象駅数:60						
指標と実績	障がい者対応型便所の整備が完了した駅数	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		58	58	59	60	60	60
平成27年度の取組み【実績】	JR香椎線和白駅の障がい者対応型便所整備完了。【JR九州】						
平成28年度の取組み	整備予定なし						
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市(交通局, 住宅都市局)							

(2) 福岡市営地下鉄全線

① 情報案内設備の改善	
整備内容	(1)鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり, 今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組みます。 ・対象駅数:35
平成27年度の取組み【実績】	中洲川端駅川端口・博多駅中央口・貝塚駅のトイレ入口の触知図, 音声誘導案内設置について, 平成27年度内に完成。
平成28年度の取組み	東比恵駅・福岡空港駅・千代県庁口駅・箱崎宮前駅のトイレ入口の触知図, 音声誘導案内設置について, 平成28年度内に完成予定。
【関係機関】 ○福岡市交通局	

触知図(博多駅中央口トイレ)



(3) バスターミナル

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて, エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】
平成28年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道)	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度 の取組み 【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】
平成28年度 の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道)	

③ 障がい者対応型便所の設置	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度 の取組み 【実績】	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】 2. 博多バスターミナルのリニューアルに伴い、整備基準に適合した維持・保全に努めた。 【博多バスターミナル】 ・3階の障がい者対応型便所の改良に伴い、オストメイト対応機器を設置。 ・トイレ入口部分に触知板を設置。
平成28年度 の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。 【福岡市道路下水道局・西日本鉄道】
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル(福岡市道路下水道)	

博多バスターミナル 3階障がい者対応型便所



着手前



完了

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

平成27年3月31日をもって、市営渡船の大岳寄港が終了し、対象ターミナル数が8となっています。

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:8
平成27年度 の取組み 【実績】	施設の維持・保全に努めた。
平成28年度 の取組み	引き続き施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 福岡市港湾空港局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備															
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:8														
指標と実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数</th> <th>現状値 H24年度</th> <th>実績 H25年度</th> <th>実績 H26年度</th> <th>実績 H27年度</th> <th>中間目標 H28年度</th> <th>最終目標 H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値 H24年度	実績 H25年度	実績 H26年度	実績 H27年度	中間目標 H28年度	最終目標 H32年度		1	4	4	4	4	8
視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値 H24年度	実績 H25年度	実績 H26年度	実績 H27年度	中間目標 H28年度	最終目標 H32年度									
	1	4	4	4	4	8									
平成27年度 の取組み 【実績】	施設の維持・保全に努めた。														
平成28年度 の取組み	施設の維持・保全に努める。														
【関係機関】 福岡市港湾空港局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)															

③ 障がい者対応型便所の設置															
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:8														
指標と実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数</th> <th>現状値 H24年度</th> <th>実績 H25年度</th> <th>実績 H26年度</th> <th>実績 H27年度</th> <th>中間目標 H28年度</th> <th>最終目標 H32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値 H24年度	実績 H25年度	実績 H26年度	実績 H27年度	中間目標 H28年度	最終目標 H32年度		8	8	8	8	8	8
障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値 H24年度	実績 H25年度	実績 H26年度	実績 H27年度	中間目標 H28年度	最終目標 H32年度									
	8	8	8	8	8	8									
平成27年度 の取組み 【実績】	施設の維持・保全に努めた。														
平成28年度 の取組み	施設の維持・保全に努める。														
【関係機関】 福岡市港湾空港局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)															

(5) 航空旅客ターミナル

① 段差の解消	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度の取組み【実績】	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する工事に着手しており、一般旅客動線は段差を解消し、適所にエレベーターを設置し上下の動線を円滑にする計画として工事を進めた。 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。(駐車場からの移動をより円滑にするため、犬走りのスロープ改修を実施した)
平成28年度の取組み	1. 平成27年より国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備する工事に着手している。工事期間中においてもスロープを設けるなど通行に支障のある段差を設けないよう配慮するとともに、本格供用が開始される部分については一般旅客動線は段差を解消し、移動の円滑化を推進していく。(平成27年度から平成30年度まで) 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度の取組み【実績】	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い、国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する工事に着手しており、視覚障がい者誘導用ブロックを他の交通機関から有人のカウンターまで連続性のあるアプローチとなるよう計画・整備を進めた。 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。
平成28年度の取組み	1. 平成27年より国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備する工事に着手している。通路の形状を一時的に変更する際においても、他の交通機関から有人のカウンターまで視覚障がい者誘導用ブロックの連続性を維持することで、安全性を常に確保していく。(平成27年度から平成30年度まで) 2. 国際線旅客ターミナルについては、既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

③ 障がい者対応型便所の設置	
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 ・対象ターミナル数:3
平成27年度 の取組み 【実績】	1. 国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナル(第1ターミナル, 第2・第3ターミナル)を再整備する工事に着手しており, ターミナルビル内旅客用便所には多目的トイレを必ず設置, 併せて一般便所(男女)内に簡易多目的トイレを設置する計画のもとに工事を進めた。 2. 国際線旅客ターミナルについては, 既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努めた。
平成28年度 の取組み	1. 平成27年より国事業の平行誘導路二重化に伴い国内線旅客ターミナルを再整備する工事に着手している。工事の進捗に合わせて, 各所に多目的トイレを必ず設置, 併せて一般便所(男女)内に簡易多目的トイレを設置していく。 (平成27年度から平成30年度まで) 2. 国際線旅客ターミナルについては, 既に整備基準に適合した状態であり, 施設の維持・保全に努める。
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)	

2 車両等

(1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入						
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。					
指標と実績	導入されたノンステップバス数	現状値	実績	実績	実績	中間目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		34	123	213	295	継続導入
平成27年度の取組み【実績】	1. ノンステップバスについて77台導入(計281台)。【西日本鉄道】 2. ノンステップバスについて2台導入(計8台)。【JR九州バス】 3. ノンステップバスについて2台導入(計5台)。【昭和自動車】 4. ノンステップバスについて1台導入(計1台)。【姪浜タクシー】					
平成28年度の取組み	1. ノンステップバスについて84台導入予定(計365台)。【西日本鉄道】 2. ノンステップバスについて3台導入(計8台)。【昭和自動車】					
【関係機関】 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス ○福岡市住宅都市局						



ノンステップバス(西鉄)



(2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化						
整備内容	車いすスペースを滑りにくい床表面とします。 ・車いすスペースのある車両数:178					
指標と実績	車いすスペースを滑りにくい床表面とした車両数	現状値	実績	実績	実績	中間目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		34	178	維持・保全	維持・保全	維持・保全
平成27年度の取組み【実績】	既に整備基準に適合した状態であり、車両の維持・保全に努めた。					
平成28年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、車両の維持・保全に努める。					
【関係機関】 ○福岡市交通局						

3 道路

(1) 生活関連経路（重点整備地区内）

① 道路のバリアフリー化							
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容:歩道の段差解消,視覚障がい者誘導用ブロック敷設など ・対象延長:43.6km						
指標と実績	バリアフリー化整備が完了した道路延長(km)	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		30.9	31.3	32.8	33.4	38.1	41.7
平成27年度の取組み【実績】	平成27年度は,生活関連経路を0.6km整備。 1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて,バリアフリー化整備の検討。【福岡国道事務所】 2. 目標の達成に向け,整備に取り組んだ。【福岡市道路下水道局】 3. 須崎ふ頭内の生活関連経路において,平成28年3月に視覚障がい者誘導用ブロックを120m設置。【福岡市港湾空港局】						
平成28年度の取組み	1. 国道202号春吉橋架替事業にあわせて,バリアフリー化整備の検討。【福岡国道事務所】 2. 目標の達成に向け,整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 3. 博多・中央ふ頭地区内の生活関連経路については,ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ,検討する。【福岡市港湾空港局】						
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局,住宅都市局,港湾空港局) ○福岡国道事務所							

生活関連経路整備 歩道の段差解消,視覚障がい者誘導用ブロック設置(博多駅草ヶ江線)



着手前



完了

生活関連経路整備 視覚障がい者誘導用ブロック設置(港那A-4臨港道路の一部)



着手前



完了

(2) 信号機（重点整備地区内）

① 信号機のバリアフリー化							
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 ・整備内容：音響式付加信号，視覚障がい者用付加信号，高齢者感应式信号，歩車分離式信号などの設置 ・対象箇所数：196箇所						
指標と実績	バリアフリー化された信号機	現状値 H24年度 159	実績 H25年度 169	実績 H26年度 172	実績 H27年度 196	中間目標 H28年度 181	最終目標 H32年度 196
平成27年度の取組み【実績】	最終目標を前倒しし、24箇所の設置完了。						
平成28年度の取組み	目標数整備済みであるものの、要望・必要性等を考慮し引き続き整備を行う。						
【関係機関】 ○福岡県公安委員会(福岡県警)							

(3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置						
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として、必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。					
指標と実績	エスコートゾーンの設置数	現状値 H24年度 3	実績 H25年度 4	実績 H26年度 4	実績 H27年度 5	中間目標 H28年度 適宜
平成27年度の取組み【実績】	利用者の意見・要望は無かった。 【福岡国道事務所】 要望があった1箇所について設置。 【福岡市道路下水道局】					
平成28年度の取組み	利用者意見を踏まえ、要望があれば設置について検討する。 【福岡国道事務所・福岡市道路下水道局】					
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)						

エスコートゾーンの設置(南区清水四つ角)



着手前



完了

(4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ							
整備内容	ノステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。 ・対象箇所数:200箇所(生活関連経路上のバス停)						
指標と実績	バス停部におけるマウントアップされた歩道(重点整備地区内の生活関連経路)	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		155	155	157	158	170	180
平成27年度 の取組み 【実績】	1. 目標の達成に向け、整備に取り組み、一か所実施。【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の整備について検討。【福岡国道事務所】						
平成28年度 の取組み	1. 目標の達成に向け、整備を進めていく。【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の整備について検討する。【福岡国道事務所】 3. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、検討する。【福岡市港湾空港局】						
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局) ○福岡国道事務所							

歩道のマウントアップ(百道バス停)



着手前



完了

② 利用環境の改善						
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置促進に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置の促進 ②ベンチ設置許可条件の緩和 ③道路管理者による設置の検討					
指標と実績	上屋やベンチの設置促進	現状値	実績	実績	実績	中間目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		設置許可条件の緩和 設置条件等の検討	道路管理者設置 1箇所	西鉄:6箇所 道路管理者: 3箇所 地域団体: 1箇所	西鉄:4箇所 道路管理者: 1箇所 地域団体: 1箇所	適宜
平成27年度の取組み【実績】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市域内のバス停において、上屋3箇所、ベンチ1箇所設置【西日本鉄道】 2. 市域内のバス停において、上屋及びベンチ設置が1箇所完了。【福岡市道路下水道局】 3. バス事業者等と協議等を行いながら、バス停下屋及びベンチの整備計画の策定を行った。【福岡市道路下水道局】 4. 地域団体に対する設置意向調査及び地域団体へのスポンサー候補に対する意向調査を行い、地域団体とスポンサーとのマッチングを実施し、一箇所設置。【福岡市道路下水道局】 					
平成28年度の取組み	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市域内のバス停において、上屋4箇所、ベンチ1箇所設置予定【西日本鉄道(株)】 2. 市域内のバス停において、上屋1箇所、ベンチ1箇所設置予定【昭和自動車(株)】 3. バス停への上屋ベンチの設置については、バス事業者による利用者サービスを基本としつつ、道路管理者においても、バリアフリー重点整備地区内の生活関連経路上などにおいて、上屋およびベンチの設置を推進していく。【福岡市道路下水道局】 4. PPPの運用を開始し、2箇所のバス停下屋を整備。(国道202号外環状道路)【福岡国道事務所】。 ※PPP:官が整備した上屋を民間事業者が広告収入で維持管理する新たな取組 5. 地域団体と広告主とのマッチングを行いながら、設置に取り組む地域に協力していく。【福岡市道路下水道局】 6. 対象箇所の整備については、ウォーターフロント地区再整備等の進捗状況を踏まえ、バス事業者とともに検討していく。【福岡市港湾空港局】 					
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局, 港湾空港局, 住宅都市局) ○福岡国道事務所 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス						

バス停下屋設置



福岡市(室見が丘入口バス停)

4 公園

○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化							
整備内容	公園の新規及び再整備等にあわせて、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:有効幅員の確保,段差の解消など ・対象公園数:1,630公園(すべての公園数)						
指標と実績	園路及び広場をバリアフリー化した公園数	現状値	現状値	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		39	59	73	89	104	164
平成27年度の取組み【実績】	公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を16箇所行った。						
平成28年度の取組み	公園の新設及び再整備等にあわせて、バリアフリーの基準に合致した園路・広場の整備を進める。						
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局							

② 駐車場のバリアフリー化							
整備内容	駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 ・整備内容:車いす対応駐車スペースの適正台数の確保など ・対象公園数:31公園(駐車場がある公園数)						
指標と実績	駐車場をバリアフリー化した公園数	現状値	実績	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		18	18	20	20	23	31
平成27年度の取組み【実績】	平成27年度は駐車場整備の対象公園がなかった。						
平成28年度の取組み	最終目標を前倒しし,残り11箇所の整備を予定している。						
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局							

③ 障がい者対応型便所の設置							
整備内容	トイレの設置が必要な公園については、公園の新規及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進めます。 ・整備内容:障がい者対応型便所の設置。 対象公園数:358公園(トイレを設置している公園数)						
指標と実績	障がい者対応型便所を設置した公園数	現状値	現状値	実績	実績	中間目標	最終目標
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H32年度
		44	50	54	55	80	120
平成27年度の取組み【実績】	今泉公園の再整備にあわせて、障がい者対応型便所の設置を行った。						
平成28年度の取組み	公園の新設及び再整備等にあわせて、障がい者対応型便所の設置を進める。						
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局							

公園トイレ改修(今泉公園)



着手前



完了

Ⅱ ソフト面のバリアフリー化

1 「心のバリアフリー」の推進

(1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

〔啓発〕

① 幅広い市民を対象とした取組み					
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	幅広い市民を対象とした啓発	実施	→	→	→
平成27年度の取組み【実績】	平成27年12月6日に「障がい者週間記念の集い」を開催。 【主なイベント内容】 ・時速40キロを腕で漕ぐ車いすマラソンアスリートランナー山本浩之氏によるトークショー ・障がい者施設商品の販売などをWeLove天神主催の「クリスマスマーケット2015」と連携して実施				
平成28年度の取組み	前年に引き続き「障がい者週間記念の集い」を開催予定。 【主なイベント内容】 ・記念講演、障がい者団体のステージイベントを実施予定。 ・WeLove天神主催の「クリスマスマーケット2016」と連携し、障がい者施設商品の販売などを実施予定。				

障がい者週間記念の集い



心のバリアフリー啓発広報



〔啓発〕

② 啓発ツール等の作成					
取組内容	啓発行事や出前講座、研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	啓発ツール等の作成	調査・検討	作成	活用	活用
平成27年度の取組み【実績】	「心のバリアフリー」推進のため、障害のある人等が「どんなことに困っているか」「困った人を見かけたらどう手助けしたらいいのか」などをわかりやすく記載した「心のバリアフリー広報誌」を、3月1日号の市政だよりと同時に全世帯へ配布した。				
平成28年度の取組み	3月1日に全世帯に配布した「心のバリアフリー広報誌」を改良し、保存版を作成した。				

〔育成〕

① 出前講座など					
取組内容	地域団体や民間企業，児童・生徒など，対象者ごと出前講座や教育を進めます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	出前講座や教育の実施	実施 広報	→	→	→
平成27年度 の取組み 【実績】	中学校及び高校の授業並びに民間団体の研修会において，バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施している。（全4回：参加者356人）				
平成28年度 の取組み	九州運輸省に協力し，小学校にてバリアフリー教室を開催した。（6月）民間団体の研修会において，バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施している。				

〔育成〕

② 施設整備担当者研修					
取組内容	バリアフリー整備に携わる人に対する整備基準の考え方，実際の利用者の声などを内容とする技術研修の実施に取り組みます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	施設整備担当者研修の実施	検討	検討	検討・作成	終了
平成27年度 の取組み 【実績】	施設整備担当の設計者向けの技術研修実施に向け，研修資料の作成等を行った。				
平成28年度 の取組み	施設整備マニュアルの改訂（平成26年）に伴う研修を対象としていたため，終了。				

〔育成〕

③ 行政職員研修					
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修，公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	行政職員研修の実施	実施	→	→	→
平成27年度 の取組み 【実績】	1. 公共施設の整備や管理を行う福岡市職員を対象に国土交通省のバリアフリー体験施設で研修を実施した。（参加者19名） 2. 福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり（みんなにやさしい施設整備を進めるために）」を実施した。（参加者49名）				
平成28年度 の取組み	1. 公共施設の整備や管理を行う福岡市職員を対象に国土交通省のバリアフリー体験施設で研修を実施する。 2. 福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり（みんなにやさしい施設整備を進めるために）」を実施した。（参加者45名）				

職員研修（久留米）



〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査				
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。			
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度
	市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	調査方法及び更新方法等の検討・調整		新たな手法による更新
				→
平成27年度の取組み【実績】	1. 建築物の福祉のまちづくり条例に基づく事前協議等の際に，バリアフリーマップ登録の案内をした。 2. 飲食店の講習会などの機会に，バリアフリーマップ登録のお願いチラシを配布し，案内した。			
平成28年度の取組み	バリアフリーマップの掲載施設を2箇所追加し，合計966箇所の施設のバリアフリー情報を掲載している。			

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり				
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに，意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。			
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度
	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり	他都市調査 制度設計・試行		稼働
	まち歩き	実施	適宜	→
				→
平成27年度の取組み【実績】	他都市の事例を収集し，本市への導入方法を検討している。			
平成28年度の取組み	(仮称)バリアフリーのまちづくりサポーター制度の導入について検討している。			

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し、市民の社会参加を促進します。

① バリアフリー表彰制度					
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い、優れた取組みの普及、啓発の促進に取り組みます。(「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携)				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	バリアフリー表彰制度の実施	実施	→	→	→
平成27年度の取組み【実績】	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や地域、企業がユニバーサルデザインに基づく優れた活動や製品開発等(バリアフリー優良事例を含む)について表彰を行った。				
平成28年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞において、市民や地域、企業がユニバーサルデザインに基づく優れた活動や製品開発等、またはそれらのアイデア(バリアフリー優良事例を含む)について表彰を行った。				

② バリアフリー優良事例等の収集と公表					
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	バリアフリー優良事例等の収集と公表	事例収集	→ 発信	→ →	→ →
平成27年度の取組み【実績】	1. ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や取組内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載した。 2. 「みんなにやさしいお店づくり バリアフリー改修の手引き」のパンフレットにおいて、福岡市内のバリアフリー優良事例を掲載した。				
平成28年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞の受賞者や受賞内容をユニバーサル都市・福岡のホームページに掲載した。				

③ 進捗状況の公表					
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	バリアフリー基本計画の進捗状況の公表	公表	→	→	→
平成27年度の取組み【実績】	アクションプランに基づく平成26年度の取組実績および平成27年度の取組について市ホームページに掲載した。				
平成28年度の取組み	アクションプランに基づく平成27年度の取組実績および平成28年度の取組について市ホームページに掲載予定。 後期ロードマップの作成予定。				

2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

① わかりやすい案内表示等の研究					
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)				
実施スケジュール		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
わかりやすい案内表示等の研究		調査・研究	マニュアルに掲載	活用	→
平成27年度の取組み【実績】	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組んでいる。				
平成28年度の取組み	「施設整備マニュアル」を活用し、わかりやすい案内表示を行うよう取り組む。				

② 「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】					
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。				
実施スケジュール		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査		調査方法及び更新方法等の検討・調整	新たな手法による更新	→	
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)					
平成27年度の取組み【実績】	1. 建築物の福祉のまちづくり条例に基づく事前協議等の際に、バリアフリーマップ登録の案内をしている。 2. 飲食店の講習会などの機会に、バリアフリーマップ登録のお願いチラシを配布し、案内している。				
平成28年度の取組み	バリアフリーマップの掲載施設を2箇所追加し、合計966箇所の施設のバリアフリー情報を掲載している。				

Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

① 施設整備マニュアルの改訂					
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。				
	実施スケジュール	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	施設整備マニュアルの改訂	内容検討	改訂	運用	→
平成27年度の取組み【実績】	「施設整備マニュアル」を運用した。				
平成28年度の取組み	「施設整備マニュアル」を運用する。				